

たかおか 市民と市政

無料アプリ
カタログポケット
でも配信中!

・動画や写真も楽しめる
・読み上げや翻訳機能付き



ダウンロード

広報紙への
ご意見・ご感想を
お待ちしております



アンケート

No.207

1

2023

ぴよんつと
飛躍の1年に



伝えの扉
(御旅屋ポケットパーク)

感染症対策への
ご協力をお願いします。

- ▶こまめな手洗い・換気
- ▶マスクの着用
- ▶「密集・密接・密閉」の回避

| 2P | 市長新年のあいさつ

| 3~5P | 祝 国宝勝興寺 など

※今月号の内容は、12月12日時点の情報です。最新情報は市HPなどでご確認をお願いします。

高岡を前へ

「持続可能な未来都市 高岡」の実現を目指し、挑戦する

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には希望に輝く新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

高岡市長 角田 悠紀

去る12月12日、勝興寺「本堂」と「大広間及び式台」が国宝に指定されました。23年もの長きに渡り進めてきた保存修理をはじめ、国宝化に向けた取組みに対し、これまでご尽力をいただいた関係各位に厚く御礼を申し上げます。また、昨年10月に国宝指定の答申を受けて以降、多くの方に勝興寺へお越しいただく中で、地域の皆様方に駐車場の整理・案内やガイド等、おもてなしの精神でご尽力いただいております、その想いに改めて敬意を表する次第です。この国宝指定により、県内で瑞龍寺に続く2例目となり、また、市内2箇所にて国宝建造物を有する自治体は北陸唯一となりました。2件の国宝に加え、3箇所の重要伝統的建造物群保存地区、2つの日本遺産ストーリー、さらにはユネスコ無形文化遺産を有する「歴史都市 高岡」の舵取り役として、大きな責任を感じていますが、まずは市民の皆様とともに喜びを分かち合いたいと思います。



勝興寺 国宝記念式典

挑戦をテーマにまちづくりを進める中で、クラウドファンディングたかおか事業を活用した新規開業への挑戦となるサカサカ内「Pillio（ピロ）」の営業開始や「子育てシェアハウスあかまる」のリニューアルオープン、中心市街地の新たな賑わい創出への挑戦となる「クラフトマルシェ」の実施、「御旅屋人マーケット」の開催、持続可能な高岡型コミュニティ交通の実現への挑戦となる「もりまる」、「のむたく」、「ノツカル」の取り組みなど、市民の皆様による新たな挑戦が芽吹き、具体的な行動として拡がってきています。

引き続き、主体的に地域課題の解決に挑戦される方々を市役所として、全力で応援することにより、新たな「挑戦の種」を育む好循環を創りだすとともに、「挑戦の連鎖」による化学反応やイノベーションを起こし、高岡を前へ進めるエネルギーを生み出していきたいです。



クラフトマルシェ



ノッカル中田
実証実験運行記念セレモニー
2022.11.18日
ノッカル中田実証実験
運行記念セレモニー

新型コロナウイルス感染症については、日本全体として、いわゆる「ウイズコロナ」の動きが見れるようになっていきます。その一方で、感染状況は全国的に拡大傾向にあり、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されています。市民の皆様には、改めて感染対策の徹底をお願いします。

20年、30年先も赤ちゃんからお年寄りまで、誰一人取り残さない豊かで暮らしやすいまち、そして、市民、地域、企業それぞれが主体となって活躍し、次の世代へとしっかりと引き継いでいけるまち「持続可能な未来都市 高岡」の実現を目指し、ともに考え、ともに汗をかき、ともに挑戦し、ともに高岡を前へ進めてまいります。

本年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。



祝 国 宝 勝 興 寺

(題字 勝興寺住職 土山 照慎)

高岡市伏木古国府に所在する浄土真宗本願寺派「勝興寺」が、昨年12月12日に国宝の指定を受けました。

勝興寺は、真宗王国越中を象徴する大型寺院であると同時に、本願寺を支える連枝寺院の一つとして大変重要な役割を果たしてきました。また藩政時代には、13代住職が還俗して加賀藩主となるなど、加賀前田家や公家などとも関係を持ちながら権勢を振るってきた歴史があります。また、現在も「ふるこはん」の愛称で親しまれています。広大な境内において「本堂」「大広間及び式台」の2棟が国宝に、10棟が重要文化財に指定されています。

今回の国宝指定は、本市で瑞龍寺に続き2つ目であるとともに、県内の国宝はすべて高岡に所在します。こうした国の宝を誇りに思い、そして後世に継承していかなければなりません。今回、国宝に指定された2棟をご紹介します。

国宝とは、国が指定した有形文化財（重要文化財）のうち、世界文化の見地から価値の高いもので類いない国民の宝たるものであるとして国が指定したもの（文化財保護法第27条）



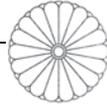
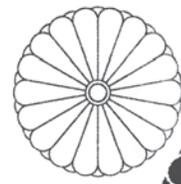
伏木地区観光ボランティア「比奈の会」で活動する、(左から)二口房代さん、山岸紀子さん、金子榮子さん

(金子さん) 勝興寺が浄土真宗布教の拠点として、歴史的・文化的に高く評価されたことをとても嬉しく思っています。勝興寺は「ふるこはん」の愛称で親しまれていて、昔から宗派を超えて地域の人に愛され、支えられてきました。どこか素朴で身近に感じられるお寺です。
(山岸さん) 勝興寺からは電線も高層ビルも見えないので、まるで江戸時代にタイムスリップしたような気持ちになれます。本堂の大きさや、内陣の金箔がきらきらと輝く美しさには、訪れる皆さんが驚いていらっしやいますね。
(二口さん) ガイドの際は、お客さんとのコミュニケーションを大切にしています。見どころたっぷりですが、半日過ごしても楽しめる勝興寺ですが、ニーズに合わせて、短時間での解説にも対応していますよ。

【問合せ先】文化財保護活用課

FAX TEL 20 1453
20 1667

本堂



本堂は、江戸後期以降の日本を代表する大型真宗寺院の本堂の一つとして、屈指の規模を誇ります。現在の姿は、寛政7年（1795）、加賀藩主（勝興寺13代住職）前田治脩の支援のもと、本願寺の阿弥陀堂を規範として再建されました。

本堂の再建では、参拝者の増大に対応できる広さを確保するため、外陣・縁側のスペースを拡大するなどの大型化が行われました。この再建事業には、加賀藩・本願寺だけでなく、越中門徒や地元大工も多く関わっています。

【建設形態の変化】

	江戸時代 初期	勝興寺本堂再建 寛政7年（1795）
資金調達	加賀藩	本願寺：勸募 加賀藩：資金援助 越中門徒：寄進
建設組織	加賀藩御大工	本願寺：木口絵図（基本設計） 加賀藩御大工：現地指導 地元大工：棟梁 ※保存修理で発見

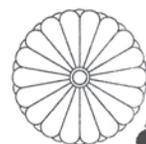
【本堂】

建立年代…寛政7年（1795年）

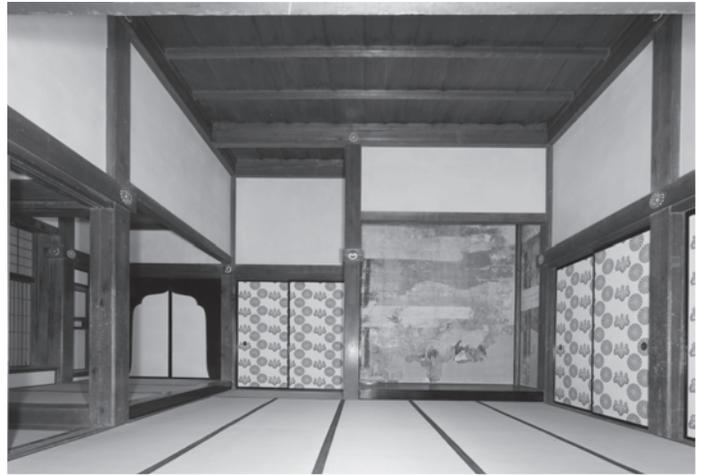
構造様式…桁行39.3m、梁間37.5m、高さ23.5m

入母屋造、向拝三間、亜鉛合金板葺

（保存修理において鉛葺であることが判明したが、環境への影響を考慮）



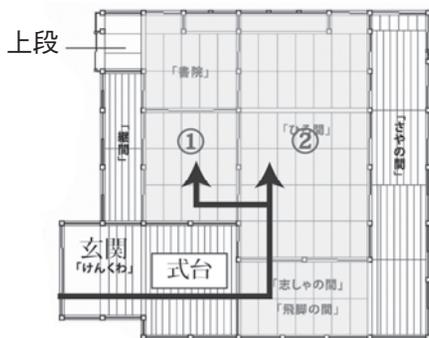
大広間及び式台



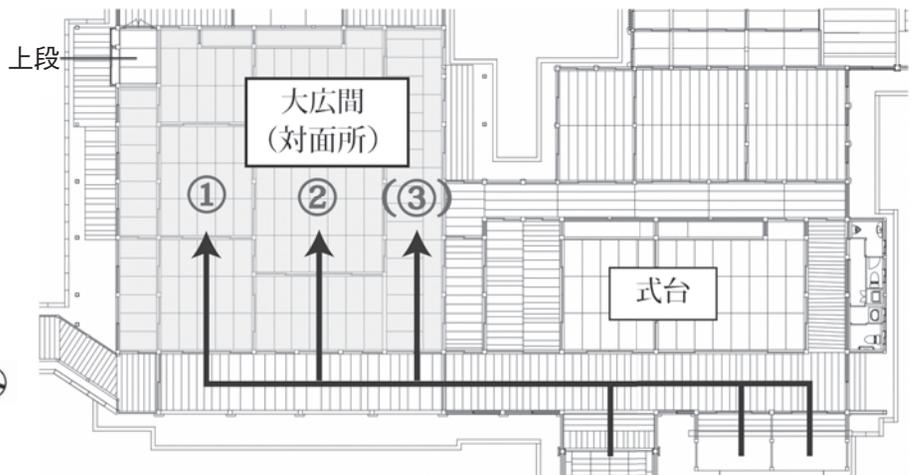
大広間及び式台は、浄土真宗の対面所（公式の接客・集会の場）の建物です。大広間は、17世紀中頃の建立と考えられ、当初は、対面所の初期形式である「2列並び」で構成されていたことが、保存修理事業で明らかとなりました。その後、18世紀後半には、式台を独立させて増築し、本山である本願寺にみられる、格式の高い「3列並び」の大広間（対面所）に準じて整備され、現在の姿となっています。このように、対面所の整備過程を体現する建物であり、歴史的価値は極めて高いと評価されました。

【初期】

【修理後】



※玄関が南側にあったことが
保存修理で発見された



【大広間】

建立年代… 17世紀中期（推定）
構造様式… 桁行18.5m、梁間15.8m、高さ10.4m
正面入母屋造、背面切妻造、北面及び南面庇付、こけら葺、背面下屋及び南面渡り廊下付属、板葺

【式台】

建立年代… 18世紀後半
構造様式… 桁行16.5m、梁間19.5m、高さ10.9m
正面入母屋造、背面切妻造、正面起り破風玄関及び二口脇玄関、北面庇附属、背面台所に接続、大広間・式台間を切妻屋根で繋ぐ、こけら葺

高岡市総合計画（アフターコロナ編） を策定します



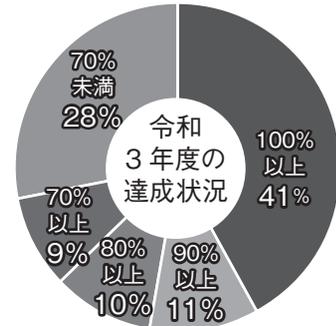
問合せ先 企画課 TEL 20-1226 FAX 20-1670

総合計画とは、市のすべての計画の基本となるまちづくりの指針です。高岡市の総合計画は、「豊かな自然と歴史・文化につつまれ人と人がつながる 市民創造都市 高岡」をまちの将来像に掲げ、「地域産業」「歴史・文化」「交流・観光」「子育て・教育」「安全・安心」の5つの分野において、進めていく施策と5年間で達成すべき目標値を定めています。

第3次基本計画（平成29年～令和3年度）の総括

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により「地域産業」「歴史・文化」「交流・観光」の分野で、多くの指標が落ち込みましたが、様々な工夫を凝らすことで、令和3年度には回復の兆しのある指標もありました。「子育て・教育」「安全・安心」の分野では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも多くの指標で目標を達成しました。総合計画審議会において、第3次基本計画の取り組みは一定の成果を上げることができたとの評価を得ました。

まちづくり指標（96指標）の実績



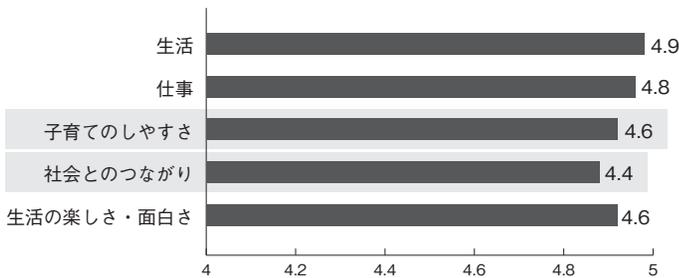
令和3年度の目標値と実績値を比べた達成状況を「100%以上」「90%以上」「80%以上」「70%以上」「70%未満」で分類しました。

アフターコロナを見据えた市民意識調査の結果

アフターコロナを見据えて取り組むべき課題などを把握するためにアンケートを実施しました。調査結果から、子育てに関して不安を感じる人、地域とのつながりが重要だと思ふようになった人が多かったこと、新しい生活様式が広がったことにより、意識や働き方が変化したことなどがうかがえました。

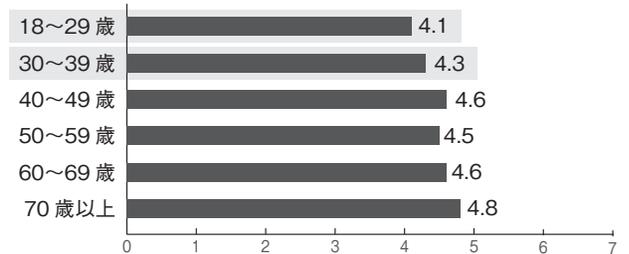
●現在の満足度

「非常に満足している」を10点、「まったく満足していない」を0点として選択



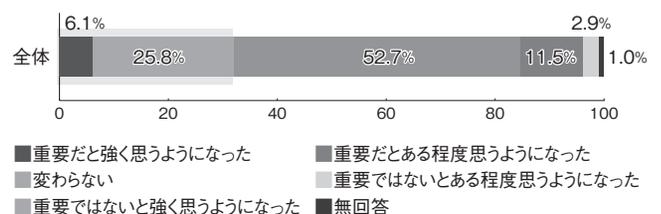
「社会とのつながり」と「子育てのしやすさ」の満足度が低い結果となりました。

●子育てのしやすさ



20～30代の満足度が低くなっていることが分かりました。

●地域とのつながりの変化



詳しくは市ホームページをご覧ください



高岡市総合計画（アフターコロナ）編を策定します

今年度からスタートした総合計画第4次基本計画（令和4～8年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響が不透明な状況で検討され、随時見直しを行うこととしていました。上記の第3次基本計画の総括及び市民意識調査の結果などを踏まえ、アフターコロナ時代に取り組むべき課題と施策を整理・検討し、将来にわたって「持続可能なまちづくり」を進めていくための高岡市総合計画（アフターコロナ編）の策定について、総合計画審議会に諮問しました。令和5年中の完成（策定）を予定しています。

第2期総合戦略「みらい・たかおか」の進捗状況をお知らせします



問合せ 企画課 TEL 20-1101 FAX 20-1670

総合戦略とは、人口減少を克服し、地域の経済社会の活性化を図るための具体的な施策等を示したもので、総合計画のリーディングプロジェクトに位置づけられています。

第2期（令和2～6年度）では、4つの基本目標を設定し、達成すべき目標を定めています。これらの達成状況を評価・検証し、各分野における施策の推進につなげます。

令和3年度の実績

各分野の指標の一部をお知らせします。

【基本目標①】多様なひとが住みたいと感じるまちをつくる

数値目標	基準値 (平成30年度)	令和3年度の 目標値	令和3年度の 実績値
令和7年までの転出・転入を均衡（人/年）	▲275	0	▲450

コロナ禍が一定の落ち着きを見せたことから、県外への移動が活発化し、転出が多くなりました。

【基本目標②】安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

数値目標	基準値 (平成30年度)	令和3年度の 目標値	令和3年度の 実績値
待機児童の数（人）	0	0	0

新たに1施設の認定こども園への移行や利用定員の見直しにより、目標値を達成しました。

【基本目標③】魅力的なしごとに挑戦できるまちをつくる

数値目標	基準値 (平成30年度)	令和3年度の 目標値	令和3年度の 実績値
創業件数（累計）（件）	168	240	320

創業機運の醸成を図るとともに、各支援機関と連携した支援を行い、目標値を達成しました。

【基本目標④】誰もが自分らしく活躍し、地域が輝き続ける創造的なまちをつくる

数値目標	基準値 (平成27年度)	令和3年度の 目標値	令和3年度の 実績値
居住誘導区域内の人口密度（人/ha）	40	40	38.5

区域内での居住支援件数は増加しているものの、転出超過等により改善までには至りませんでした。

令和3年度の取り組み結果をもとに

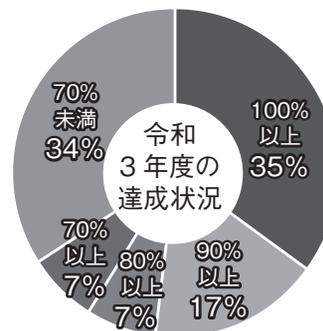
今後、働き方の変化、地方回帰への流れ、デジタル技術の活用など、時流にも的確に対応しながら、戦略に定めた施策を推進し、持続可能なまちづくりを進めます。

総合戦略について詳しくは市ホームページをご覧ください。



総合戦略の詳細

数値目標・指標の実績



令和3年度の目標値と実績値を比べた達成状況を「100%以上」「90%以上」「80%以上」「70%以上」「70%未満」で分類しました。



©Fujiko-Pro



もっとホット高岡ニュース 🔍 検索

このページで紹介できなかった出来事も
随時掲載しています。



伝統工芸の技を体験

11月19日

高岡巧美会による「技体験・匠工房見学」が開催され、高岡市伝統工芸産業技術保持者の技を見たり、体験しました。参加者は思い思いの絵を鑄型に掘り込み、鑄物で錫の小皿を作りました。東京から参加した小宮栄子さんは「彫りの感触が面白く、錫を流し込む迫力ある工程を見て満足」と充実した表情でした。



自家製ほうれん草を販売したよ

11月22日

下関小の3年生がJA高岡の指導のもと、学校の畑で植え付けから収穫まで行った自家製のほうれん草をクルン高岡で販売しました。販売した横田璃奈さんは「自分たちが栽培したほうれん草を多くの人たちが買ってくれたのでうれしかった」と笑顔で話しました。児童らは仲間と一緒に販売する楽しさを学んだようでした。

文化財再発見コーナー

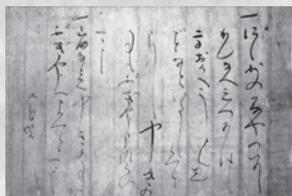
たかおか

おん ち しん 温故知新

高岡鑄物産業の発祥を示す／前田利長書状

慶長14年(1609)9月13日、前田利長は新たに築いた高岡城に入城し、同時に城下町も開きました。利長は高岡に多くの家臣団・寺社・商人らのほか職人も各地から呼び寄せ、城下町の発展を図りました。金屋町は慶長16年(1611)に七人衆が開いたとされていますが、実はそれを示す一次(同時代)史料は現在のところ確認されていません。

写真の書状には、「にしぶかなやのいもし…(中略)高おかへこし候てしごとなどいたし候へと申し候べく候」とあり、



年末詳5月30日付前田利長書状
(市指定文化財／博物館蔵)

由緒ある「河内(勅許)鑄物師」の流れをくむ砺波郡戸出西部金屋村(現高岡市戸出西部金屋)の鑄物師(鑄造技術者)を高岡へ招くよう側近(駒井守勝ら)へ指示したもので、高岡金屋町の鑄物産業の発祥を示す貴重な史料です。

利長は鑄物師たちに当時は大河であった千保川の左岸(城下町の対岸)5,000坪の土地(拝領地)をはじめ、各種の特権を与えました。これを受けて鑄物師は様々な鉄器(鍋釜・鋤鍬や鉄金具など)を製造し、成長していきました。

やがて江戸中期には銅器の生産もはじまり、全国の鑄物師を支配した公家・真継家の台帳によると、江戸後期にはついに日本一の鑄物師数を誇るまでに発展しました。(仁ヶ竹主幹)

問合先 ☎ 博物館 20-1572

■右のアイコンがついているものは、無料アプリ・カタログポケットで、動画やスライドショーを視聴できます。



※アプリは表紙上部のQRコードからインストールできます。



木版画で味のある年賀状作り 11月11日・18日

博物館で「版画講座－木版画で年賀状を作ろう－」（親しみ会主催）が開催されました。お互いに作品を褒め合いながら和気あいあいと制作に取り組みました。参加した市内の女性は、「版画は難しいと思いがちだけど、やってみると意外と誰でもできる。水上悦子先生から直接教わることができてよかった」とにこやかでした。

季節の野菜や惣菜がずらり 11月20日

高岡テクノドームで「たかおか食彩フェア」が開催され、地元高岡産の新鮮な野菜や果物、おいしいお惣菜が生産者から直接購入できるとあって、今回も大勢の人でにぎわいました。市内から夫婦で訪れた向田恵子さんは、「品ぞろえが豊富で買いたいものが買えた」と満足気でした。



さあ、新高岡駅から。

VOL.94

MaaSアプリ「tabiwa by WESTER」を使って お出かけしよう！

JR西日本が提供するMaaSアプリ「tabiwa by WESTER」で北陸のJR線などが乗り放題になるデジタルチケット等の販売が始まっています。アプリでは、北陸3県の鉄道・バスなどが乗り放題の周遊パスや観光・グルメチケットを購入することができるほか、旅先のスポット情報、経路検索も可能です。アプリをダウンロードし、お得なチケットでお出かけしてみたいか？



※各公共交通機関では、車内の消毒・除菌や換気などの新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。

【購入可能チケット（一例）】

- 交通系
 - ・北陸おでかけtabiwaパス（福井・石川・富山・新潟）
 - ・小浜線tabiwaパス（福井）
 - ・越前tabiwaパス（福井）
 - ・金沢加賀tabiwaパス（石川）
 - ・金沢能登tabiwaパス（石川）
 - ・とやま周遊2dayパス（富山）
 - 観光・体験系
 - ・SAMURAI PASSPORT（石川）
 - ・福井県産「そば食べ歩きクーポン」（福井）
- 問合先 総合交通課 TEL 30-6505